サントリーホールディングス株式会社

社会貢献、ＣＳＲ等の取組方針・取組状況

サントリーは「水と生きる」企業です。水を育む森を守り、水を大切に使い、きれいにして還す活動、すなわち「水のサステナビリティ」の実現を事業活動における最も重要な課題と認識しています。

工場の水源涵養エリアを中心に、国や地方自治体、地元の方々、学識経験者の皆様と協働して「天然水の森」と名づけた水源涵養活動を全国 13 都府県 16 ヵ所、約 7,600ha で展開しています。活動にあたっては事前に十分な森林調査を行い、エリア固有の自然環境や生態系に十分配慮し、高い水源涵養機能を持った森づくりを進めています。 また、「天然水の森」 を「水と生命の未来を守る森」と定義し、森林土壌の保護と育成に努め、生物多様性のバロメーターとして、愛鳥の視点を導入し、生態系ピラミッドの頂点である猛禽類が訪れ、繁殖に成功するような森林を目指しています。

京都モデルフォレスト活動としての取組

京都エリアにある３つの工場(サントリー酒類株式会社京都ビール工場・同山崎蒸溜所・サントリー食品工業株式会社宇治川工場)の水源涵養エリアでの森林整備活動に取り組んでいます。

社員による森林整備
(長岡京市)

作業道の開設
抜根作業
(井手町)

獣害防止柵
(和束町)

モデルフォレスト活動への想い（感想、課題）

京都での活動は、「竹林整備」「人工林の間伐」「受光伐」「獣害防止柵の設置」「環境に優しい作業道の開設」「ヤシマットによる土壌流失防止工」等の専門家による森林整備を実施する他、林業に携わる人材の育成支援にも取り組んでいます。一方、子供たちと森を再生する環境教育「カブトムシの森づくり」や松枯れから山を守る「マツ山再生プロジェクト」等を実行し、地元の行政及びボランティアの方々やサントリーグループの地元工場・営業拠点等の社員なども協働した森林整備活動も行っています。

森林には多くの整備課題がありますが、学識経験者の皆様や専門家の方々にもご相談し、共に問題解決に取り組んでいます。 この京都にあっても、あるべき森のモデルとなるように 5 年 10 年 30 年と計画性のある整備活動を続けて行き、後世の子供たちのために残して行きたいと思っています。

活動データ

◆企業・団体

サントリーホールディングス株式会社
〒530-8203　大阪市北区堂島浜 2-1-40
サントリーワールドヘッドクォーターズ
〒135-8631　東京都港区台場 2 丁目 3-3
担当部署　エコ戦略本部エコ戦略部
(サントリーワールドヘッドクォーターズ内)
電話：03-5579-1513

◆協定・活動エリア

・2005 年 3 月「天王山周辺森林整備推進協議会」
(大山崎町・大阪府島本町)に参画。
合計面積約 250ha(内、京都府内 160ha)

・2005 年 6 月「西山森林整備推進協議会」
(長岡京市)に参画。合計面積約 800ha。

・2010 年 2 月「天然水の森　きょうと南山城」
(木津川市・井手町・和束町・笠置町・南山城村)の協定締結
合計面積約 870ha

・2012 年 3 月「天然水の森　きょうと西山」(長岡京市) の協定締結。
合計面積約 60ha(前述の「西山森林整備推進協議会」のエリア内)

皆伐した竹林を天然林へ更新(大山崎町)
（切った竹は獣害防止柵として活用)

土壌流失防止のためのヤシマット工(木津川市)

マツ山再生プロジェクト(大山崎町)
（マツを元気にするため地掻き）

人工林の
筋工間伐
(木津川市)